

高校一年の学力よりみた中学英語学習上の問題点

— 語法について —

丹下省吾・加藤 剛・高橋恵亮・倉田有邦

一 研究の目的

本校では過去二年間発音指導についての研究を行ってきたので、今年からは中学英語、特に円満な英語学力を獲得しようとする際に、文法的事項では、どこに学習困難点があり、どのような誤りを犯すかを的確にとらえ、すすんでその指導法をも研究しようと思う。又さらに高校新入生の高校英語への導入の際の資料にも役立たせる心算である。

ここでいう文法とは、所謂文法のための文法という意味ではなく、解釈、作文のための文法であることももちろんである。

二 研究の方法経過

先づ新学年早々高校新入生に文法的事項に関するテストをするために、吾々は問題を作ることにした。テストの内容は、「中学校学習指導要領」の内容を全て網羅した。問題は本校の英語科教官4名が、それぞれの項目について10問乃至20問を作り、その後全員の協議により、適当な問題を選ぶことにした。このようにして全部で170問を選んだ。テストの時期は、もっと早い時期の方が望ましいが、問題の取捨選択にかなりの時間を費したので、6月から7月にかけて、170問を5回に分けてテストを行った。問題の形式は、空白埋め、適語選択、誤文訂正、書き換え等を出題し、変化を持たせるようにした。

尚このテストを受けたのは、本校の高校新入生 110名である。本校の一年生の英語学力について一言すれば、標準的学級編成を目的として、学力を重視しない選抜を行ったのであるが、これを入学当初行った教研式標準学力テストおよび愛知県において実施した新入生学力テストについて考察してみると、次のようになる。

教研式標準学力テスト新入生用 英語
本校平均点 57.8 本校標準偏差 8.2

この結果は全国の平均点を50、標準偏差を10とした時、平均点、標準偏差とも1%の危険率をもって有意の差があると考えられる。

愛知県高校新入生学力英語テスト

	平均点	標準偏差
本校	62.8	14.3
愛知県(全日制、普通課程)	54.4	20.4
名古屋市(全日制、普通課程)	65.1	16.7

愛知県の平均と比較した場合は、いずれも1%の危険率をもって有意の差が認められるが、名古屋市平均とでは、標準偏差については5%の有意の差が認められるが、平均点については10%程度の危険率では有意の差は認められない。

本稿においては、以上のようにして行ったテストの内で、主として中学校一年で学習する文法事項についてのテストの結果を中心に述べようと思う。

三 テストの結果

— 誤答の分析 —

I Be 動詞, Have 動詞

問A. is, am, are, have, has. のうち適当な語を一つずつ入れなさい。

1. A year () twelve months.

正答数	84
誤答数	26
誤答の種類	

have	14
is	5
are	6
was	1

2. Here () some pencils.

正答数	88
誤答数	22
誤答の種類	

is	21
has	1

3. There () some water in the bottle.

正答数	58
誤答数	52

誤答の種類		
are	52	
4. () Betty and Bill good story books?		
正 答 数	69	
誤 答 数	41	
誤答の種類		
Has	33	
Are	4	
Is	3	
空白	1	
5. Who () that gentleman?		
正 答 数	106	
誤 答 数	4	
誤答の種類		
are	3	
have	1	
6. Jack and Helen () brother and sister.		
正 答 数	56	
誤 答 数	54	
誤答の種類		
has	23	
have	16	
is	15	
7. I () going to Osaka next month.		
正 答 数	104	
誤 答 数	6	
誤答の種類		
have	3	
will	1	
was	1	
are	1	

問B. 空白に適当な語を一つずつ入れなさい。

1. Where () you born?	
正 答 数	67
誤 答 数	43
誤答の種類	
was	9
are	26
have	4
did	3
is	1
2. I () born in Nagoya.	
正 答 数	101
誤 答 数	9

誤答の種類	
am	4
have	4
had	1

3. How many people () present at the meeting last night?	
正 答 数	53
誤 答 数	57
誤答の種類	
are	25
is	3
has	7
have	4
その他	18

Be, Have の誤りで特に気付くのは主語の数と動詞との一致についての誤りと、時制による変化についての誤りである。

主語の数と、Be, Have 動詞の一致は中学の一年で学習することであり、高等学校一年入学者は、このような初歩的な誤りをすることは殆ど考えられないのであるが、上表の如く誤答者が予想以上の高率を示している。それゆえ、高校新生を指導する場合は、今一度この関係についての指導を行い、徹底的に理解させ又反復練習を行う必要があるものと思われる。

尚上表によって明かなように、There……構文の場合には特に誤りが多いのは There に惑わされて主語がはっきり意識されないものと思われる。従ってこの構文の指導にあたっては、特にどの位置の語が主語であるかと云うことを、はっきり生徒に理解させる必要があるものと思われる。又、5・7・においては殆どの生徒が正答をしているが、これは Who is that gentleman? I am going to Osaka next month. と云うような文は中学初年時において何回も反復練習し、無意識に is, am, と答えられるものと思われる。当然のことながら、今更ながら反復練習の必要と効果を痛感させられる。

問B. の問題は Be, Have 動詞のみの問題として扱わずに時制の問題との関連において考えねばならぬのは当然であるが、ここでは、一応 Be, Have の問題として扱った。

時制による変化について誤りの多いのは、生徒の時制についての意識が極めて弱いことを物語っている。この点についても、教授者はよく生徒の注意を喚起すべきであろう。尚この点についても、I was born in Nagoya. と云う形の文は、何回も反復練習し、生徒が無意識に自分のものにしてから正答が多いと思

われる。

正 答 数 92

誤 答 数 18

誤答の種類

Ⅱ 一 般 動 詞

問A. 指示のように次の文を書き変えなさい。

Do your brother know me? (原文)

1. You see a dog. (Heを主語にして)

正 答 数 89

誤 答 数 21

誤答の種類

He see a dog. 9

He does see a dog. 5

その他 7

Do your brother knows me? 5

その他 8

2. You don't like oranges. (Tomを主語として)

正 答 数 101

誤 答 数 9

誤答の種類

Tom don't likes oranges. 4

Tom doesn't likes oranges. 2

Tom don't like oranges. 2

Tom didn't like oranges. 1

3. Does Mr. Jones likes it?

正 答 数 105

誤 答 数 5

誤答の種類

Does Mr. Jones likes it? (原文)

3

その他 2

3. Jack Jones does not skate. (They を主語にして)

正 答 数 99

誤 答 数 11

誤答の種類

They does not skate. 6

They does not skates. 2

その他 3

4. Do you know me? (She を主語として)

正 答 数 104

誤 答 数 6

誤答の種類

Did she knows me? 2

Do she know me? 1

その他 3

一般動詞の現在形が主語が三人称単数の場合に、語尾に s 又は es をとることは大部分の生徒には分って居るようであるが、問A.の2・3・4. および問B.の3.のように、疑問文、否定文の助動詞 do, does を使った文については、誤答は比較的少いのに対し、問A.の1.問B.の1.のように肯定文の問題になると、基本的な問題であるにもかかわらず誤答がかえって増えてくる。これは、三人称単数 現在形には s をつけるということは抽象的には分っていても日本語の常識からすれば極めて些細な変化であり、不注意に落すことが多いためだと思われる。それに対して疑問文、否定文のように do, does を使うものは練習する機会も多く、do と does というはっきりした区別があるために、正しい形がかなり明瞭に意識されるものと思われる。

又疑問文、否定文においては、どの問題にも、主語が三人称、単数、現在の場合 does の次に来る動詞の語尾に s 又は es をつける生徒が居る。これは肯定文の場合と混同している為と思われる。教授者はこのような点にも注意すべきであろう。

尚問題の形式について云えば、問B. のような形式はあまり良くないと思われる。その理由として次の二点が考えられる。第一の理由は、問題として誤文が示されているので、訂正をしなかった者に関しては、それが正しいと思ったのか或は全くわからなくて記入しなかったか、わからないからである。第二の理由としては、出題者側の意図に反して、その問題の狙いとする点以外の箇所を、いじくりまわす者が多数ある場合もあり、充分に出題意図を達成出来ないこともあり得るからである。

問B. 次の文の誤りを正しなさい。

1. The dog run fast.

正 答 数 93

誤 答 数 17

誤答の種類

The dog run fast. (原文) 6

A dog run fast. 5

その他 6

Ⅲ 進 行 形

2. Do your brother know me?

問A. 次の文を進行形に書き変えなさい。

1. You drink milk.	
正 答 数	98
誤 答 数	12
誤答の種類	
You <u> </u> drinking milk.	9
その他	3
2. Helen does not walk slowly.	
正 答 数	71
誤 答 数	39
誤答の種類	
Helen <u>does</u> not walking slowly.	22
Helen <u>does</u> not be walking slowly.	3
Helen <u>do</u> not walking slowly.	2
Helen <u>doing not walk</u> slowly.	2
Helen <u>was</u> not walking slowly.	2
Helen <u>is doing not walk</u> slowly.	2
解答なし	3
その他	3
3. Does your father read the newspaper?	
正 答 数	61
誤 答 数	49
誤答の種類	
<u>Does</u> your father reading the newspaper?	20
<u>Does</u> your father <u>is</u> reading the newspaper?	7
<u>Are</u> your father reading the newspaper?	7
<u>Does</u> your father <u>be</u> reading the newspaper?	3
<u>Do</u> your father reading the newspaper?	2
<u>Doing</u> your father <u>read</u> the newspaper?	2
その他	8
4. What do they play?	
正 答 数	64
誤 答 数	46
誤答の種類	
What <u>do</u> they playing?	20
What <u>doing</u> they play?	7
What <u>is</u> they playing?	5
What <u>do they be playing</u> ?	3

What <u>are they doing</u> play?	2
その他	9
5. He looked at the picture.	
正 答 数	83
誤 答 数	27
誤答の種類	
He <u>is</u> looking at the picture.	10
He <u>did</u> looking at the picture.	5
He <u> </u> looking at the picture.	3
He <u>has been</u> looking at the picture.	2
その他	7

進行形は～ing form と心得ている者が多いということが、1.の結果よく判る。これは進行形の導入にあたって指導者が特に留意すべき事柄でもある。5.も1.と同様の文であり、同様の結果が出るはずであるが、時制の誤りおよび2. 3. 4. と続いた助動詞 do の影響の分だけ正答数が少くなっている。

2. 3. 4. で顕著な誤りは do によるものである。問題の中に do が含まれていなかったら、これ程多くの誤答者はなかったろうと思われるが、このような誤りも結局 be の用法を正しく理解して居れば避けられるはずのもので、その意味でますます be の正しい把握が肝要となる。

IV 疑問文

問A. 次の文を疑問文とみなさい。

1. Betty lives in the city.	
正 答 数	89
誤 答 数	21
誤答の種類	
Does Betty <u>lives</u> in the city?	7
<u>Where</u> does Betty live?	7
<u>Where is</u> Betty <u>lives</u> ?	2
その他	5
2. You went to the station.	
正 答 数	88
誤 答 数	22
誤答の種類	
Did you <u>went</u> to the station?	6
<u>Where</u> did I go?	4
<u>Where</u> did you go?	3
<u>Do</u> you <u>went</u> to the station?	2
<u>Do</u> you go to the station?	2
その他	5

3. They speak English well.

正 答 数 87

誤 答 数 23

誤答の種類

- Does they speak English well? 5
- Can they speak English well? 4
- What do they speak well? 3
- その他 11

問B. 次の文が答となるような問の文を書きなさい。

1. No, he cannot speak French.

正 答 数 95

誤 答 数 15

誤答の種類

- Can you speak French? 4
- Can he speaks French? 3
- Does he can speak French? 2
- Cannot he speak Frnch? 1
- Do you speak Frnch? 1
- Can he a speak Frnch? 1
- 空 白 3

2. Yes, you may play the piano.

正 答 数 100

誤 答 数 10

誤答の種類

- Do you play the piano? 2
- May you play the piano? 1
- Do you may play the piano? 1
- Do you think I play the piano? 1
- I may play the piano? 1
- 空 白 4

先づ問Aについて云えば、一般動詞の疑問文、否定文を作る際には、助動詞 do を用いるという英語の用法は、中学校で楽しく英語を始めた生徒たちが突き当る最初の難関であろう。中学校の上級生は勿論高等学校の生徒でもこの用法のみ込めず、英語に苦しんでいる者が少なくない。

be, have の場合のように動詞を主語に先行せしめる誤りがありはしないかと予測したが、その類は少く、主な誤答は、助動詞を使いながら本動詞を原形にすることを忘れていたもの、あるいは、助動詞と主語の人称、数の不一致であった。無意識に正しい形を作るにはまだ反復練習が要求されるが、少なくとも注意して誤りを避けることができるよう、つまり理解だけはまず確実にさせておかなければならない。

題意と異って、疑問詞を使って疑問文を作成した者

が数名あった。出題のしかたに対する警告となるかもしれない。

次に 問B. について述べれば、助動詞 may, can を用いた疑問文は大部分の生徒が理解して居るが、やや眼につく誤りとしては、助動詞を使いながら動詞の語尾に s をつける誤りと、助動詞 can, may を用いながら、更に文頭に do, does をつける誤りとを二つを挙げ得よう。後者は、一般動詞の疑問文は do で始めるのだと一部の生徒にこびりついてしまっているために起るのであろうか。

もう一つ著しい誤りは、疑問文の主語は常に you と無意識に決め込んでしまっている誤りである。不注意による誤りと云ってしまえばそれまでであるが、指導者はこんな点にも注意すべきであろう。

V 否 定 文

問A. 次の文を否定文に書き変えなさい。

1. Tom learns English.

正 答 数 91

誤 答 数 19

誤答の種類

- Tom does not learns English. 6
- Tom learns not English. 5
- Tom do not learn English. 3
- Tom don't learns English. 2
- Tom not learns English. 2
- その他 1

2. The boy played the violin.

正 答 数 95

誤 答 数 15

誤答の種類

- The boy not played the violin. 4
- The boy played not the violin. 4
- The boy do not played the violin. 2
- その他 5

3. Jack and Bill like music.

正 答 数 87

誤 答 数 23

誤答の種類

- Jack and Bill does not like music. 10
- Jack and Bill not like music. 7
- Jack and Bill like not music. 3
- Jack and Bill are not like music. 3

否定文も、原理は前の疑問文と同じであるが、その誤答には、疑問文の場合における主語、助動詞の不一

致に加えて、not を加えただけのものが目立った。助動詞を使わない誤りは疑問文で予想したのだが、そこらでは殆ど見当らず、ここでもかなり見出されるのは、その原因の推測に苦しむ。強いて疑問文と区別して見るならば、疑問文では原文に do が加わるだけ、否定文には助動詞および not の両者を加えなければならないことであろうか。

いずれにしても、この二つの大きな誤りの類型は指導者側で予想して、否定文を指導しなければならない。

VI 命 令 文

問A. 次の文を命令文にきなさい。

1. You must walk more slowly.

正 答 数	71
誤 答 数	39
誤答の種類	
<u>Must</u> walk more slowly.	14
<u>Walk</u> must more slowly.	2
<u>Do</u> walk more slowly.	2
<u>Be</u> walk more slowly.	2
無 答	3
その他	16

2. You must not make a noise.

正 答 数	84
誤 答 数	26
誤答の種類	
<u>Must</u> not make a noise.	4
Don't <u>you</u> make a noise.	4
Don't <u>be</u> make a noise.	2
<u>Must</u> not ___ a noise.	2
Not make a noise.	4
その他	10

問B. 日本語に合うように、空白に一語ずつ入れなさい。

1. () quiet.

静かにきなさい。

正 答 数	78
誤 答 数	32
誤答の種類	
Keep	23
Make	2
Don't	3
その他	4

2. () () idle.

怠けてはいけない。

正 答 数	57
誤 答 数	53
誤答の種類	
Do not	25
Must not	3
Not be	4
その他	21

3. Study hard, () you will fail.

一生懸命勉強きなさい。さもないと失敗しますよ。

正 答 数	99
誤 答 数	11
誤答の種類	
if	3
but	3
and	2
空白	3

命令文に関しては殆んど誤りを予想しなかったが、問A. において出題文の must に牽制されて、これを解答文中に使った誤りが意外に多かった。問A. の 1. 2. 問B の 2. から察せられるように、肯定の命令には動詞の原形を、否定の命令には助動詞 Don't を使うことを徹底せしめることが大切だと思われる。

尚 問A. において肯定に強意の do を、あるいは主語 you を、否定にも主語 you を入れた Don't you の形を使った者が少数あった。これらは認められる語法ではあるが、ここでは誤りとして扱った。まず基本的な型を自然に使えるようにすることが第一である。

VII 感 嘆 文

問A. 次の文を感嘆文にきなさい。

1. This is a very beautiful flower.

正 答 数	72
誤 答 数	38
誤答の種類	

What a <u>very</u> beautiful flower this is!	27
What a beautiful flower <u>it</u> is!	3
What a very beautiful flower <u>is</u> this!	2
<u>How</u> beautiful flower this is!	2
その他	4

2. This flower is very beautiful.

正 答 数	67
誤 答 数	43

共 同 研 究

誤答の種類	
How <u>very</u> beautiful this flower is !	10
How beautiful <u>is this flower</u> !	5
How beautiful <u>flower this is</u> !	3
<u>What</u> a very beautiful this flower is !	2
<u>How this flower is very beautiful</u> !	2
無 答	3
その他	18

3. He speaks English very well.

正 答 数 43

誤 答 数 67

誤答の種類

How <u>well English</u> he speaks !	15
How <u>very well English</u> he speaks !	5
How well he <u>speak</u> English !	4
<u>What a well English</u> he speaks !	3
How well <u>speaks</u> English he is !	2
How well <u> speak</u> English !	2
<u>What a very well</u> he speaks English !	2
無 答	10
その他	24

4. He is a good speaker of English.

正 答 数 62

誤 答 数 48

誤答の種類

What a <u>very</u> good speaker of English he is !	27
<u>How</u> good speaker of English he is !	3
What a good speaker of English <u>is he</u> !	2
無 答	11
その他	5

5. Washington was a very honest boy.

正 答 数 8

誤 答 数 102

誤答の種類

What <u>a</u> honest boy Washington	
-------------------------------------	--

was !	49
What a <u>very</u> honest boy	
Washington was !	23
<u>How honest boy</u> Washington	
was !	6
What <u>a</u> honest boy Washington	
<u>is</u> !	5
What a <u>very</u> honest boy <u>was</u>	
<u>Washington</u> !	2
無 答	9
その他	8

感嘆文を構成する二つの主要素は、語順と感嘆形容詞、あるいは感嘆副詞とである。

テストの結果を見ても、これに関する誤りがかなり見受けられる。しかしそれよりも多かった共通の誤りは What あるいは How を用いながら、副詞 very を使っていることである。これは出題の平敘文にすべて very を用いたからであって、別の形で出題していたらこのような結果は出なかったであろう。その意味では出題形式にも一考の余地はある。けれども how と very の、あるいは what と very の意味上の重複に気付く程度に訓練されていなければ、感嘆文の基本に習熟しているとはいえない。

いま一つ感嘆文の本質とは別の問題であるが、目立ったのは 5 . の a honest boy という冠詞の誤りである。もとの文の語順を変更した結果この順序になったので、当然 an を用いるべきところを、不注意で気付かなかったものであろう。視覚にたよる筆記試験の問題点の一つである。

語順の誤りは同一類型は少かったが特に 3 . などは種々様々な順序が見られる。主部、述部、修飾語句をはっきり知らせて、基本文型により練習させることが必要である。What と How の使いあやまりも語順の誤りをもたらす一因になる。修飾のしかたの相違を理解せしめその上で練習しなければならない。

VIII 比 較

問A. 日本文に合うような語を空白に入れなさい。

1. Which is (), Taro or Jiro?

太郎と次郎とどちらの方が背が高いか。

正 答 数 93

誤 答 数 17

誤答の種類

tall	16
tallest	1

2. Tom is () () boy in our class.

トムは私たちのクラスで一番背の高い少年です。

正 答 数	97
誤 答 数	13
誤答の種類	
taller than	4
tallest than	2
tallest the	1
the highest	3
the tolest	1
その他	2

3. I like baseball () () anything else.

私は野球が何より好きです。

正 答 数	35
誤 答 数	75
誤答の種類	
more than	16
best than	14
the best	10
best in	6
than of	2
無 答	13
その他	14

4. I like baseball () () all.

私は野球が何より好きです。

正 答 数	50
誤 答 数	60
誤答の種類	
best in	10
the best	6
better than	6
best at	4
most of	2
more than	2
best than	2
その他	28

5. Are you () () () he?

あなたは彼と同じくらいの背の高さですか。

正 答 数	98
誤 答 数	12
誤答の種類	
as taller as	9
so tall as	1
the same as	1

無 答 1

6. No, I am not () () () he.

いいえ、彼ほど高くありません。

正 答 数	82
誤 答 数	28
誤答の種類	
so taller as	3
as taller as	3
so tall than	2
taller than	2
無 答	6
その他	12

7. A rose is the () beautiful () all the flowers.

バラはすべての花の中で一番美しい。

正 答 数	57
誤 答 数	53
誤答の種類	
most is	19
best of	8
best in	4
most flower	3
most than	2
best than	2
more than	2
most at	2
その他	11

8. A rose is () beautiful () any other flower.

バラはすべての花の中で一番美しい。

正 答 数	45
誤 答 数	65
誤答の種類	
most of	7
most in	6
most than	5
more in	4
best of	3
the of	3
better than	2
その他	35

9. She is () () of the two.

彼女は二人のうち年上の方だ。

正 答 数	13
-------	----

誤答数 97

誤答の種類

the oldest	10
older than	9
older	8
elder than	6
the eldest	5
more old	5
the tallest	3
more older	3
無 答	7
その他	41

10. He is () () of the three.

彼は三人のうちで一番年上だ。

正 答 数 64

誤 答 数 46

誤答の種類

the tallest	9
elder of	4
older than	3
most old	2
無 答	8
その他	20

問B. () にあてはまる語を右のらん
に書きなさい。

1. She has () books than I.

(much, more, many のうちから選んで)

正 答 数 76

誤 答 数 34

誤答の種類

many	31
much	3

2. He is () () of the three.

(tall か、その変形を使って)

正 答 数 83

誤 答 数 27

誤答の種類

taller than	10
most tallst	2
tallest boy	1
best tall	1
the taller	1
無 答	6
その他	6

形容詞および副詞の比較級および最上級の使い方は全般的に理解が浅いようである。

過半数の生徒は比較級といえば、「より……」最上級といえば「最も……」といった極めて形式的な覚え方しかしていないことがテストの結果によく現れている。即ちその形式に一致するもの、例えば、問A. の 2. Tom is (the) (tallest) boy in our class. のような問題は誤答は極めて少く、殆んどの者が正答をしている。

これに反して比較級、最上級のいずれにも表現出来る文は、極めて理解不十分である。そのことは問A. の 3. I like baseball (best) (of) all.

4. I like baseball (better) (than) anything else.

7. A rose is the (most) beautiful (of) all the flowers.

8. A rose is (more) beautiful (than) any other flower.

の出来の悪さにはっきり現れている。

問A. の

9. She is () () of the two.

のような語法は知らないものが大部分である。

Comparison は、それ自体の変化はもちろん、それ以外の要素、すなわち冠詞の有無とか、付随的に使われる前置詞 of, 接続詞 as など関連させて覚えなければならぬことが多い。

したがって教授者は、平素から模範的な短文を数多く反復練習させて、生徒が種々の語法に習熟するよう指導しなければならないと思う。比較級、最上級の形も tall-taller-tallest などは、誰でも知っているが beautiful—more beautiful—most beautiful という変化になると、身につけていない者が多くなり、更にこれらを実際に文の中へ入れて使うとなると、前置詞や接続詞の使用法ともからみ合せて、正確に使いこなせる者は至って少なくなる。

四. 今後の見通し

前章において誤答の分析の際に、一寸触れたようにテストをして誤答分析をしてみると、問題の形式、問題文の選択等について、多くの不備な点に気付いた。又各項目についての問題数も少なきに過ぎることも感じた。

しかしながら吾々は、不備な点があるにもかかわらず、このテストから今までただ漠然と教授者が予想していたに過ぎない学習困難点、誤りの類型をとらえることが出来、又指導上の盲点を知ることが出来た。

高校一年の学力よりみた中学英語学習上の問題点

吾々は今後このテストをより良いものにして、来年度の新生に実施すると共に、更に歩を進めて、このテストの結果によって、中学生に対する指導法、およ

び高校新生に対する高校英語への導入方法の研究を行いたいと思ってる。
